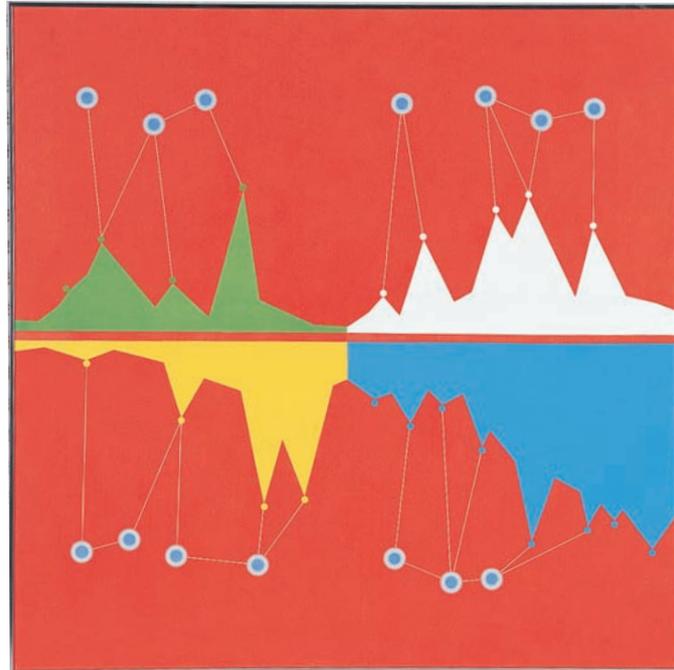


学校法人 鶴岡学園 北海道文教大学

北海道文教大学大学院 北海道文教大学明清高等学校  
北海道文教大学短期大学部 北海道文教大学短期大学部附属幼稚園



こども発達学科 教授 堀内拘夫 作 「作品 LEVEL-01」 2005年

## 北海道文教大学の 特徴

### 1.北海道文教大学は、「人」を真ん中に位置づけた大学です。

北海道文教大学では、「人」に貢献できる真の力をそなえた「人」の育成をめざしています。国際社会で、自分らしく考え行動できる「人」。複雑な時代を生きる人々の健康や幸福を、栄養・医療・教育の分野から支えられる「人」。「人」に対して、深い理解と思いやりを持つには、まず自分がそうされた実感を知らなければなりません。だからこそ、本学は「人」を真ん中に位置づけた人間教育に重点をおいています。

### 2.「人」の基本である「コミュニケーション力」を育みます。

気持ちのいいコミュニケーションは、挨拶から始まります。それが相手の心を押しかき、スムーズな人間関係を築ききっかけとなります。「コミュニケーション力」といえば、論理的な話し方の技術や表現の豊かさを連想しますが、本学では、相手の話を「正しく理解する力」や発言の「真意を見抜く力」も大切に育てます。自分の考えを伝えるだけでなく、聞く姿勢を重んじることが「豊かな人間性」と「健全な社会性」を育てることにつながるのです。

### 3.学生一人ひとりが「自分のなすべきこと」を発見できます。

ユニバーサル化の時代となり、大学は今、多様な機能と明確な特色が強く求められる時代です、本学では「実学」を重視した教育をすすめています。「実学」とはそれぞれの専門知識や技術と、プロとしての自覚や良識が融合した「高度な専門性」の実現にあります。重要なのは大学で「何を学んだ」かより、地域や人々のために自分が「何をなすべきか」をしっかりと自覚できる人材に成長することにあるからです。

### 4.学生と共に果敢にチャレンジし、高い就職率を実現しています。

学生のあらゆるチャレンジを積極的に支援すること。これも本学の特色であり基本姿勢です。留学、インターンシップ、各種ボランティア活動、語学検定、国家試験対策、教員採用試験対策、アシスタントティーチャー、子育て支援事業、学外公演、スポーツ強化選手支援など、学生の可能性に挑む意志を尊重し、強力にサポートします。専門家によるきめ細やかなキャリア支援やキャリア教育によって、開学以来90%をこえる高い就職率を維持しています。

## 鶴

岡学園の建学の精神は「清く、正しく、雄々しく進め」、これは本学園創始者である鶴岡トシ先生の言葉です。本学園に学ぶ誰もが未来を拓くチャレンジ精神を有し、且つ他者を重んじる「もてなしの心」を持つ心豊かな「人」の育成にあります。

現学長・理事長の鈴木武夫先生は本学の教育理念として「実学重視」を掲げられ、その教育目標は「豊かな人間性」「健全な社会性」「高度な専門性」の涵養にあります。この

2011年度本学は広く理解され、より支持される大学へ。  
北海道文教大学の特徴をわかりやすく策定しました。

ように、建学の精神・教育理念・教育目標ともに明確に定められている訳ですが、大学をとりまく環境は変化し、ユニバーサル化の時代である今、本学の特徴とも言うべき事項について、広く誰にでもわかりやすく伝えられ、ご理解していただく必要性から、本学の「理念・目的・教育目標」に関する委員会において審議され、左記の4項目からなる「本学の特徴」として策定されました。今後、大学案内(パンフレット)やホームページをとってお知らせしていきます。

# 文

教ペンギンルームは、北海道文教大学こども発達学科子育て教育地域支援センターの通称名です。こども発達学科の発足と同時に誕生しました。

「文教ペンギンルーム」は、「保育士・幼稚園教諭の資格をベースに「小学校教諭または特別支援学校教諭」のトリプル免許の取得を可能にした、全国的に見ても極めてユニークな「こども発達学科(入学定員80名)」の附属施設として誕生しました。

「存知のように、ペンギンは人間のように家族単位で生活を営みます。さらに、親が餌を取りに行く間、子供たちを他のペンギン達が預かるなど、集団で協力しあい生活します。また、ペンギンのひなは親鳥が餌をやりに戻って来た時、その声を聞き分けるなど親子の絆の強い動物です。当センターの役割を考えると、子どもに親しみやすい通称としてふさわしいように思われます。

「文教ペンギンルーム」はセンター長とセンター担当のスタッフを中心に取り組みを進めるなかで、「ラヴェルのボレロの曲」のように、子ども発達学科の教員が第1陣に加わり、第2陣には健康栄養学科、第3陣には看護学科・作業療法学科、さらには理学療法学科の教員が加わるような、人間科学部全体が呼吸を同期させて地域と共に活動する地域密着型の支援センターとして成長していくことが求められています。

この機会に、「文教ペンギンルーム」の5つの特徴を紹介しておきましょう。



ペンギンルーム



## 「こども発達学科ペンギンルーム開設」

「文教ペンギンルーム」の1つ目の特徴は、学生たちのもつ「関係調整力」を大切にしているところにあります。そこには、学生たちが乳幼児期から児童期、そして青年期へとたどるなかで、家族や学校の場の中で培った「人への思いやり」や「共通の目的に向かって」一緒に力を合わせて取り組む「気持ち」を原質にして、さらに「歩進化したニュータイプの保育・教育臨床の専門家になってほしい」という願いがあります。そしてまた、そこでは「原因追求型の保育士や教師」よりも「課題解決型」の「原因追求型の保育士や教師」の誕生が期待されています。

こども発達学科で3つの教員免許を同時に取得できる、トリプル免許の取得の構造にもそのような願いが込められています。「文教ペンギンルーム」は、そのための教育支援の「翼」を担う役割が課されています。



写真資料1  
チーフティチャーの作ったトンネル(軸空間)を通過する子ども役の学生たち。

写真資料1は、周りの人や物とのかかわりに困難をきたしている子ども達のためにわれわれが開発した関係力育成プログラム(行動空間療法)の事前学習を、こども発達学科の新人生同士が指導者役と子ども役を交互に担当してロールプレイングを体験中の場面です。このような実習体験を通して、こども発達学科のすべての学生が臨床心理学や特別支援教育学の世界に通じる力量を身につけてほしいと思っています。

「文教ペンギンルーム」の2つ目の特徴は、外向型支援活動を通して、地域の関連施設と連携を取りながら日常的に、教育・臨床実践を進めようとしているところにあります。す

に、恵庭市の「子育て支援センター」(プレイセンターを含む)、「発達支援センター」及び社会福祉法人麦の子会(札幌市)の「発達クリニック」と共通のベースを構築し、大学と協働方式による「子育て・発達支援のフィールド」を完成させる取組に着手しています。すでに、センター長とセンター専任スタッフが毎週、外向型の支援活動を展開しており、この流れの中に、こども発達学科の学生が参画していく方向にあります(写真資料2は全国的に有名な恵庭市プレイセンターでの保育支援活動の様子を写したものです)。



写真資料2  
プレイセンターの集いの場での「ほっと一息場面」

「文教ペンギンルーム」の3つ目の特徴は、地域支援の流れの中で、「子育て・発達支援のフィールド」から紹介を受けたお子さんとお母さん方が元気になれる、システム支援があげられます。ここでは、「文教ペンギンルーム」での子育て支援活動「あいあい」の活動とお母さん方を対象にしたミュージックセラピー「ミュージックトリフレッシ活動」の事業などを中心に「場」をベースにした子育て支援活動「あいあい」で取り組みを展開します。「文教ペンギンルーム」の「場」をベースにした子育て支援活動「あいあい」では、子どもたちとお母さん方が「構造化された場」を通じた遊びの中でまわりの世界と自分とを結ぶ「元氣の出るかわり合いの世界作り」を共通のテーマにしています。この取り組みは9月の公開講座で紹介されます。

「文教ペンギンルーム」の4つ目の特徴は、こども発達学科の教員の一人ひとりの持ち味を生かした、特別企画があげられます。その二つに、地域の方々と一緒に作る「公開講座」や「特別



人間科学部こども発達学科 教授  
子育て教育地域支援センター長 後藤 守

1942年北海道熊石町生れ  
本学教授(専攻 発達臨床心理学)・臨床心理士  
北海道教育大学名誉教授・博士(教育情報学)  
恵庭市社会教育委員・就学指導委員会委員

講演会」などの企画があげられます。まずは、6月のオープンキャンパスで、受験生と保護者の方々と出合える企画の実現が当面の課題です。

「文教ペンギンルーム」の5つ目の特徴は、学内及び学外の方々と共同研究の拠点作りがあげられます。ここでは、「こども」というキーワードを共通のベースにして、さまざまな分野の方々の英知が結集される予定です。

「文教ペンギンルーム」は今年の4月に誕生したばかりですが、この広報誌に目をとめられた方は、ぜひ、北海道文教大学が地域の方々と一緒に作り上げようとしている「文教ペンギンルーム」に立ち寄ってもらえとうれしいです。そうすれば、新設された、こども発達学科と子育て教育地域支援センター(通称 文教ペンギンルーム)の「これまで」と「これから」がよくわかります。「文教ペンギンルーム」の場所は7号館(薄いベージュ色の建物)の正面玄関を入って突き当りにあります。

# 私

達は「文教ペンギンルーム」のことをもっと知ってほしいと思っています。地域のみなさんと受験生の皆さんがたくさん、私達の大学の「ペンギンルーム」を訪ねられるのを楽しみにしています！

## アカデミックリサーチ Academic Research

### すぐれている日本の授業

わたしの研究テーマは「授業」です。何をどう教えれば子どもがわかってくれるかを考えています。日本の授業の研究は、アメリカ、中国などの各国から注目されています。昨年、わたしの所属する日本教育方法学会では「日本の授業研究(上)(下)」という本を出版し、今この英語版を準備しています。この中でわたしは、日本教育のすぐれた伝統である作文(つづり方)教育を担当し、執筆しています。

### 他方で、学級崩壊も

こうした動きにみられるように、日本の学校の授業はよい面が多いのですが、他方で授業が成立しないといつた、いわゆる「学級崩壊」のような厳しい現実もあり、研究者としては、こちらも直視しなければなりません。いまから約10年前、この学級崩壊が新聞・テレビなどで大きくとりあげられた時期に、わたしは研究仲間と、この問題について、全道の学校の調査を行いました。ここでは、その結果について紹介しましょう。

### 崩壊は1年生でも起きる

調査から、いろいろな事実が浮き彫りになってきました。この中で、最も貴重だったとわたしが思うのは、1年生に学級崩壊が起きているということでした。表をご覧ください。5年生6年生の学級で多いというのは想像がつかます。しかし、次に多いのは、1年生なのです。このことは何を意味するのでしょうか。そうなんです。学校に入る前の子どもも育ちにも目を向けなければならぬということなんです。

学級崩壊については、多くのマスコミや評論家は、学校や教員の指導力に責任ありと述べていますが、この事実には、こうした論調を変えたと、当時、札幌市教育委員(現) 会指導部長をなさっていた方が語っています。

| 学年 | 97    | 98    | 99    | 平均    |
|----|-------|-------|-------|-------|
| 1年 | 15.9  | 13.3  | 14.8  | 14.5  |
| 2年 | 2.3   | 1.7   | 8.0   | 3.7   |
| 3年 | 9.1   | 14.2  | 8.0   | 10.8  |
| 4年 | 6.8   | 9.2   | 8.0   | 8.1   |
| 5年 | 31.8  | 32.4  | 35.1  | 33.1  |
| 6年 | 34.1  | 27.5  | 26.1  | 29.1  |
| 不明 | 0.0   | 1.7   | 0.0   | 0.7   |
| 合計 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |

1997~1999年度学年別「学級崩壊」の出現状況

### 学校は頑張ろうとしない

次の事実にも、わたしは胸をうつされました。学級崩壊の原因をたずねたところ、道内各学校は「親のしつけ不足」「教師の指導力不足」「子どもの忍耐力の低下」「大人社会の問題の反映」と上位4番目まで、「家庭」「学校」「子ども」「社会」にそれぞれ問題があると率直に答えています。ところが、学級崩壊にどう対処しますかとたずねますと、今度は上位4番目まで、「教員の協力」「児童理解と接し方」「楽しくわかりやすい授業」「学級成員を減らす」など、主として学校や教員ができることをあげています。

記者発表に先だつて、当時の北海道教育委員会生涯学習部長に、「このように学校は、原因は多様であっても、泣き言を言わずに、みずからできることをやろうとしていますよ。」と紹介したところ、「捨てたものではないですね。」とわずいておられたことを思い出します。

### 道民へのメッセージ

この調査には、マスコミの関心も高く、結果を記者発表することになりました。テレビカメラの放列の前で話すことなど初めての経験でしたので、年甲斐もなくあがってしまいました。このように学校はできることはやるという姿勢であること、しかし、原因は多様であり、学校だけにまかせるのではなく、行政をはじめ地域住民の支援が不可欠であることなどを説明しました。学校教育と道民とを結ぶメッセージになりました。

研究が役にたつということは、そうあるものではありません。この調査については、わずかですが世論の流れを変え、北海道の1年生の学級のサイズを小さくすることにもつながるなど意義があったかなと思っています。



こども発達学科 教授 三上 勝夫

1943年 中国東北(旧満州)生れ。  
本学教授(専攻 教育方法学)  
元北海道教育大学副学長  
日本教育方法学会理事  
北海道教育学会会長  
著書「教育と授業の理論」「文学作品の読み方教育論」「教育課程論」「日本の授業研究」他多数。

はじまりはいつもの国際協力の授業から

# 昼

下がりの恵庭キャンパスの教室。今日も「国際ボランティア論」の授業がある。そして、今回も教壇に立っているのは担当の渡部先生ではない。そういえば、先生は「国際関係論」や他の授業でも学生と一緒に教室の席に座って楽しそうに話を聴いている。別に、先生がサボっているわけではなく、先生の授業では時々、アジアやアフリカの開発援助や国際協力の現場で活躍した経験を持つ若い人たちが来て、実際の体験に基づき生きた世界の話をしてくれるのだ。

例えば、国際交流基金の職員としてホーチミンで2年間、ベトナムの若者に日本語を教える仕事に携わったまだ20代の山本真理さん。現地での日本語教室や文化交流の仕事、出勤途中のベトナムの日常の風景、文化、社会、食事のことなど、豊富な写真やビデオを使いながら、アジアで日本語や日本文化を広める仕事の魅力を伝えてくれる。将来、日本語教師を目指す女子学生や、アジア留学に関心のある学生たちが熱心に質問する。

開発援助やアフリカの話になると、青年海外協力隊員としてジンバブエで2年間、現地の食品製造などを指導した吉田勉幸さんがやってくる。吉田さんは講師としてODAやJICAなどの日本の国際協力の仕事を、現地での苦労や人々との楽しい交流体験と、アフリカの壮大な風景を織り交ぜながら話してくれる。ちょうど吉田さんと同じ小樽出身で、現在もジンバブエの地で子どもたちのために活動している女性の方があると知り、本学に今年度新設された国際言語学科の目

ちの実践的な演奏活動を通じた国際交流を重視しており、普段の練習や活動、教育の他に、ヨーロッパやアメリカなど世界各地での演奏経験も豊富である。今回、高橋さんと一緒に本学を訪れてくれる「素敵な仲間たち」は、ジンバグルの7人の子供たちで、道文大の学生たちとの音楽を通じた交流を今から心待ちにしているという。アフリカのビジネスや教育現場では、私たちの想像以上に英語が浸透している。高橋さんやジンバグルの子どもたちはもちろん英語が使えるので、学生たちの中には今から交流のために英語を磨いている者も出現している。また、渡部先生が顧問をつとめる国際問題を勉強し実践するサークルWARP(ワープ: World Affairs Research Project)国際問題研究愛好会の略の学生たちも、この心躍る「アフリカの日」に向けて、アフリカやジンバブエの歴史や文化を学ぶ勉強会を開催したり、せっかくなので何かできないかと、当日に向けての様々なお手伝いを買って出たり、企画展示などの広報や募金運動を計画している。高橋さんとジンバグルの子どもたちの歓迎に向けて、大学の中でもすでにさまざまな動きが起きている。

アフリカの生の声が、ジンバブエの大地のドラムが大学に鳴り響く!

# 国

国際言語学科の教員たちの間で、通称「アフリカの日」プロジェクトとして進行していた、高橋さんとジンバグルの子どもたちの来学が、大学側の支援もあり、ついに7月2日(金)の4講時、(14時40分〜16時10分)に、恵庭キャンパス

## キャンパスにアフリカの鼓動がやってくる!

「音楽を通じた国際教育支援ージンバブエの輝く子どもたち」  
(7月2日)へのお誘い



指す「世界で活躍し貢献できる人材」像と重なるお仕事をされているので、縁あってはるかジンバブエの地より「素敵な仲間たち」と来学いただく運びとなった。

アフリカの大地に24年、音楽を通じた国際教育支援

# 今

回、吉田さんのご紹介で本学にお越しいただくことになったのは、アフリカのジンバブエで現地の子供たちのために、長年にわたって教育支援活動を続けている、NGOジンバグル・アートセンター代表の高橋朋子さん。

高橋さんはアフリカなど世界各地を巡っている時に、初めてジンバブエを訪れて以来その魅力の虜となると同時に、子供たちが置かれている様々な困難な状況に強い問題意識を持つにいたる。何かしなくては! の強い思いに突き動かされて、現地に音楽を通じて教育支援を行う「学校」を建ててしまう。そんな高橋さんが代表をつとめるジンバグル・アートセンターでは、ジンバブエのストリート・チルドレンや孤児など、恵まれない境遇にある子どもたちを引き取り、現地に伝わる伝統的なドラムなどの楽器の学習や演奏活動を通じて、教育の機会を与えているNGOである。今年、帰省のために北海道を訪れていた高橋さんから、「日本の若者にアフリカの躍動感を伝えたい!」と相談を持ちかけた吉田さんが、「アフリカで頑張っているパワフルな道産子女性がジンバブエにいる」と、最初に話を持ちかけたのが日頃授業や国際協力などで親交のある、国際言語学科の渡部先生だったわけである。



科開設を記念して、世界各地にゆかりのあるスペシャルゲストを国内外からお招きし、シンポジウム、講演会など多彩なイベントを展開する予定である。10月21日にはアメリカの現役若手外交官の方をお招きして、アメリカの政治、社会、文化、また最近耳目を集めている日米関係などについて、直接お話を聞きし学生たちと直接議論する講演会を予定しており、今後、本学のホームページや広報誌などで情報発信していく。

各種イベントは、一般の方々にも公開されるので、若い中高校生や学生の皆さん、近隣の市民の皆さんなど、積極的に大学の新しい学びの形に参加していただければと思う。



(本学)での特別授業の形で実現することになった。国際言語学科特別講演・第1弾を飾るイベントとして、「音楽を通じた国際教育支援ージンバブエの輝く子どもたち」と銘打って、高橋さん(ジンバグル・アートセンター代表)、吉田さん(元青年海外協力隊員・JICA広報委員)、渡部先生(本学国際言語学科講師)を交えた、アフリカの現状と国際協力を考えるシンポジウム、そしてジンバグル・アートセンターのジンバブエの子どもたちと本学学生の音楽演奏を通じた、体験型の国際交流イベントが行われる予定である。このイベントは一般公開イベントとして、アフリカの文化やNGOの仕事などに興味のある、中高生など若い学生さんたちから大人の市民の皆さんまで、幅広い皆さんの積極的な参加をお待ちしている。アフリカで実際に輝く日本人女性の活躍や、ジンバブエの子どもたちとの交流から、若い学生たちが英語や他の外国語を使って、NGOや国際協力などの現場で英語圏以外でも働くことなどについて考える、またとない機会となっている。これを機に、より多くの学生が幅広い世界の問題に目を向けて、外国語学習の動機や今後の進路を考える刺激となってくれることを願っている。世界は学生たちが漠然と思っ描いているよりも、はるかに広く深く豊かなのだ。

国際言語学科開設記念イベントは続く

# 恵

庭キャンパスにいながらにして、実際に世界で働き活躍する人たちが、世界を躍動感を肌で感じる。そんな少し贅沢な経験を学生たちにしてもらうために、本年度国際言語学科では学

国際言語学科特別講演シリーズ 第2弾!

こひやまはく  
小檜山 博が語る  
「ひとりでは生きられない」

北海道オホーツク滝上町生まれの小説家、小檜山博氏の講演会を開催します。  
北海道でたくましく生きる労働者を描き、数々の文学賞を受賞している小檜山氏のお話を聞きながら、わたしたちは複雑な現代社会をどう生きていけばよいか、刺激をもらいましょう。

日時: 2010年10月15日(金) 14:40~16:10  
会場: 北海道文教大学 本館2階 大講堂 (開場14:10より)  
ナビゲーター: 本学国際言語学科教授 神谷忠孝 (北海道文芸館理事)  
入場無料。事前の予約は不要です。  
お問い合わせは、kokusai-gengo@do-bunkyo.ac.jpまで。

をかぶると何故かスイッチが入ってしまうとの事。米山さんはチームでも有力なポイントゲッターです。こちらも小学校1年の時、一歳上の兄の影響でアイスホッケーを始めます。中学1年では岩倉ペリケリン(苫小牧の女子クラブチーム)に加入、現在も所属しており活動の中心となります。高校では男子アイスホッケー部にも加入、トレーニングなどで男子と一緒を流しました。高校2年の10〜11月行われたオリンピック予選の最終選考で惜しくも落ちてしまいましたが、12月のU18世界選手権「イビジョン」に出場し優勝します。続く3〜4月開催の世界選手権では初めて日本代表としてフル出場をはたしました。高校でも同期で同じクラブチームではゴールキーパーを務める前田葉月さん(国際言語学科成績特待入学)もオリンピック強化選手、今後も最強のチームメイトとなりそうです。



女子アイスホッケー  
米山知奈さん



ハーフパイプを滑走する  
八田梨加さん

# 初めまして、私 元気一杯です。

このコーナーに相応しい、元気な新入生が本年続々と入学しています。その中でもオリンピック強化選手に指定されている二人を紹介しましょう。

ウィンタースポーツのメッカ北海道らしい競技種目で活躍する期待の女性アスリートです。

年度より新たにスタートした国際言語学科に入学したのは、スノーボードハーフパイプでオリンピック強化選手に指定を受けた八田梨加さん(北海道文教大学明清高校出身)。小柄な普段の八田さんからはアスリートの印象はありません。小学校2年生の時、父親の影響を受け家族ぐるみでスノーボードを始めます。4年生の時にハーフパイプを体験し、5年生では遊び感覚で出場したJ.S.B.A全日本コースの部でいきなり2位に入賞、続く6年生では同コースの部で優勝してし



人に共通するいくつかのポイントがあります。それぞれの競技スタート時期が殆んど一緒で、家族の強い支えがあった事。それぞれの環境は違いますが、目指す大会の最終目標はオリンピックであり、むしろオリンピックしか知らず、本人の「やりたい」という気持ち最優先された事。決して無理強いされて続けてきたことではありません。そして現在も継続中であり具体的な目標を持ち、楽しんでる事。将来を考えた選手生活の先も現実感を持つて見はじめたことにあります。

この他にも高校時代に女子バスケットボールで全国大会ベスト8と世界シニア大会出場経験を持つチームメイトが理学療法学科と看護学科に入学するなど、新入生は元気一杯の「わたし達」です。大学ではこんな元気な「わたし達」を学生・教職員丸ごと応援していきたいと思っています。

八田さんが世界のステージにデビューしたのは中学2年生、韓国で開催された世界ジュニア選手権で6位入賞の快挙、富良野で開催されたワールドカップにも出場しました。その後は、S.A.J、F.I.Sの競技大会を中心に活動しています。4年後、ソチで開催予定の冬季オリンピックでの活躍が期待されるスノーボーダーですが、当面はユニバーシアードでの入賞と目標を明確に語ってくれました。

大学からスポーツ優待の誘いがあったにもかかわらず、将来を見据えて本学は米山知奈さん(苫小牧東高校出身)。女子アイスホッケー、オリンピック強化選手として2年連続指定を受けています。米山さんのポジションはフォワード、温かい印象の彼女からアグレッシブな姿は想像が難しいのですが、ヘルメット

## 「オープンキャンパスの今!」本学のオープンキャンパスを分析する。

本学のオープンキャンパス参加者数はここ数年増加の傾向にあり、一昨年、昨年と前年の1.25倍強の伸びを示している。これは新学科の設置や教職員・参加学生の弛まぬ努力の成果であり、各学科の特色を活かした体験講義やプログラムが分かりやすく親しみやすいとの評価を頂いている事でも理解できる。

ある教育関連企業の調査によれば、「オープンキャンパスに参加して、進学したいと思ったことがあるか」の質問に77.3%が「はい」と答えたそうである。ついでオープンキャンパスに参加して「進学したい」と思うときはどのような場面上位を上げると、「大学全体の雰囲気が良い」47.2%、「施設・設備」46.8%、「在学生との話」45.8%、「体験授業が面白い」44.2%と続く。一方、「進学したくない」と思う上位は、「自

分に合わない」55.3%、「交通の便が悪い」27.7%、「施設・設備」27.2%、「体験授業が面白くない」25.4%の順である。このアンケートでは、自由意見でも「パンフレットを見ると実際に行くのとではわけが違う」「周りに活気や盛り上がりがある」「説明を聞き、より興味関心を持った」と具体的意見の反面、「チャラチャラした人ばかりで、想像していた雰囲気ではなかった」「先生たちがやる気がなかった」も挙げられている。

オープンキャンパスは受験生にとり、志望校選びの大きな材料であり、そこでの体験が志望校にするか否かを大きく左右する。そのような意味でも在学生が身近な存在になり、大きな刺激を受ける場もある。学生の体験発表やプレゼンテーション、なにげないエスコ

トをみて「自分も同じようにできるようになりたい」「先輩の挨拶が気持ちよく印象的」など大学の雰囲気を出すのは学生と言っても過言ではない。これは日頃の大学の教育力が試される場面でもあるからである。本学が独自に行っているアンケートでも同様な結果が得られている。だからと言って「十分に完成されている」「これ以上開催する必要がない」「担当者任せで良い」とは決してあってはならない。本学は今、やっと選抜するに十分な志願者数と志願校の大きな変化が見られる時期にさしかかったにすぎない。日々自らを分析し、反省し、改良を加えてこそ参加する高校生より真の評価を得られるのであり、17歳から18歳で自分の将来を決めなければならない高校生の心情や状況を充分配慮した対応が強く求められるのである。

実績として、一般入学試験志願者の約9割程度の参加者を集める本学のオープンキャンパスである。「人とともに」「人のために」本学で学ぶ事の大きな意味や、国家試験を突破した資格者(プロ)としての責務の一端を真に理解頂けたらどうか。また、地域の未来に役立つ人材、国際社会で活躍するには如何なる資質が不可欠か、参加する高校生に理解され記憶に残る場として十分な成果を挙げることが強く求められるのである。真に本学が求める人材を確保する意味でも、今後もオープンキャンパスを疎かにしてはならない。

(入試広報部)



平成二十二年三月卒業生の就職状況

今

春卒業生の全国的な就職決定率は近年では、最低水準にとどまり、学生の就職にとって、超水河期の年でした。未決定で卒業する学生も多いことから行政などが、採用に意欲のある企業に働き掛けて、正規採用に繋げることを期待し、実習生の賃金や受け入れ企業の教育訓練費助成金を支給し、6ヶ月の雇用やインターンシップ事業を実施する程でした。

平成二十二年三月卒業生の就職活動の特徴として、例年になく、年を越しても卒業間近迄、就職活動を続ける学生が目立っていました。このことは、道内はもとより全国的な傾向でした。一月に入ってからこの時期としては、異例の合同企業説明会も開催されましたが、「新たに人を雇う余裕がない」と参加を断る企業も多かったようです。

理学療法学科 一期生健闘する

八 月中旬頃から道内外の病院・施設などから求人票が就職課に届いてきました。八月で全ての実習を終えた4年生は、九月に入ってから、廊下の掲示板を見て、求人ファイルで、詳細な内容を確認する為に、就職指導室を入りする学生の姿が多く見られるようになり、また、チームを組んで、志願先選定の参考にする為に興味・関心のある病院・施設を直接訪問した学生も多く見られました。道内の病院・施設の人事担当者を迎えての学内説明会を九月、十月の二度に亘って開催しました。

就職決定の好成績を挙げることが出来たのは、卒業研究の教員の進路先選定の適切なアドバイス、理学療法学科教員と就職課の綿密な連携、選考試験に向けて二人ひとりの学生への支援が実を結んだ結果であると考えます。そして何よりも、学生一人ひとりが、理学療法士をめざし、高い意識を持って、研究グループを中心に、共通の目標を持って前向きに学生生活を

就職活動の支援の進め方

だが、それ程求人状況が増えませんでした。そのような状況が続く中で、未内定学生三人ひとりの希望地、職種および就職活動状況などを把握しながらアドバイザー教員との連携をとりながら、学生に対し、粘り強く、数少ないチャンスを生かす為の最善の努力を働き掛けてきました。



臨 床実習後は、学生同士の作問やグループ学習の工夫をし、八九名の卒業研究を同じくするメンバーが、国家試験合格の目標達成に向けて、共に学習グループ室で学習を深めてきました。

また、二期生として、学生自身が「本学の理学療法学科の基礎づくり」後輩の為に、良い足跡を残したい」と考えその姿勢を学生の言葉から感じることが出来ました。学生一人ひとりが、そして、どのグループ集団も真摯な態度で、四年間、自己を高め合ってきたことが、良い結果になったと思います。



就職データ

外国語学部 就職率 (2010年5月1日現在) 95.1%
過去5年間のおもな就職先(順不同)
【教育・学習支援業】
【情報・通信業】
【公務・団体】
【卸売・小売業】
【飲食店・宿泊業】
【金融・その他金融】
【製造業】
【航空・運輸業】
【サービス・その他】
【公務・小売業】
【製造業】
【卸売・小売業】
【飲食店・宿泊業】
【金融・その他金融】
【製造業】
【航空・運輸業】
【サービス・その他】

人間科学部 健康栄養学科 就職率 (2010年5月1日現在) 95.5%
過去4年間のおもな就職先(順不同)
【給食サービス会社】
【栄養士・管理栄養士】
【飲食サービス会社】
【公務・その他】
【要栄企業・施設】
【栄養士・管理栄養士】
【公務・その他】
【要栄企業・施設】

人間科学部 理学療法学科 就職率 (2010年5月1日現在) 100%
平成22年3月卒業生就職先(順不同)
【道内】
【道外】
【理学二情報】
大学院進学 : 1名
札幌医科大学大学院入学
第一希望決定率: 87.5%
学内採用説明会: 参加病院・施設に18名決定

\*国際言語学科・作業療法学科・看護学科・こども発達学科に関しては、学科設置より4年未満のため、卒業生を輩出しておりません。

## 雪エネルギーで電気を作る 作業療法学科 教授 木村 浩一

作業療法学科で研究・開発が進められている発電機です。作業療法学科で発電機の開発とは、妙な組み合わせだと思いませんか？作業療法士は、身体・精神的な障害を持っている人々が安心して生活できるよう治療・援助を行います。その活動範囲はとて広く、リハビリテーションだけに留まりません。例えば、お年寄りや体が不自由な方にとって、冬の北海道は除雪が大変な問題です。また、夏には北海道といえども都市部では気温が高く、お年寄りなどは体調を崩してしまい、亡くなることさえあるのです。作業療法士たるもの、冬の雪も夏の暑さも何とかしなければなりません。

そこで出て来た解決法が「発電」なのです。雪の利用法として、雪冷房がありますが、これを一歩進め、雪で電気を作ってしまうという発想です。まず、雪冷房と同じく、冬は雪を地下などに貯蔵します。夏、道路は直射日光で恐ろしい程熱くなっています。この道路の熱と貯蔵した雪の温度差を利用して発電するのが、今研究している発電機です。道路の熱が発電に使われるので、実際に発電させると道路の温度が低下してしまいます。その結果、周囲の気温も下がっていくことになります。発電すると、CO<sub>2</sub>を出さないどころか、夏を涼しくしてしまう、地球温暖化対策の切り札？の発電機です。将来、この発電機のために、電力会社が皆さんの家の前の雪を買っていくようになるかも知れません。もう除雪に苦労することもなくなります。夏は、もしかすると発電し過ぎて冷夏になり、困るかも知れませぬ。



東京の展示会で発表してきました。たくさんの方で、パンフレットが無くなって大変でした。写真の二人は開発に携わった3年生の学生さんです。

## 理学療法学科初の国家試験突破！ 理学療法学科

早いもので2006年に人間科学部に理学療法学科(定員80名)を開設し、本年3月には無事第一期生が卒業していきました。本学では本学科が医療系学科の先陣を切って新設されたその後、2007年に作業療法学科(定員40名)、2008年には看護学科(定員80名)が開設されています。当然のことながら内外共に、理学療法士国家試験結果が目立つところでもあり、我々も受験者と同様に緊迫した年度末を迎えることとなりました。

一期生は75名が卒業対象となり、この75名全員が国家試験受験者となりました。道内養成校ではこれ程大量に受験するのは初めてであり、期待された結果は70名が合格となり、合格率は93.3%となりました。理学療法学科では12月までに100%の就職内定があり、就職職の時期にあっても有資格者が強く求められる結果でした。全員合格が強く期待されましたが、一部ご要望に応えることが叶わずご迷惑をおかけしたことを大変残念に思っております。日常的に授業内で小テストを実施されるなど、学科教員の皆様のご指導や、見事突破した卒業生には賛辞を送りたいと思います。これからも気持ちを引き締め、プロとして日々精進して頂きたいと願っています。

## 第9回「漢語橋」準優勝、そして次の学年に 国際言語学科

5月30日(日)第9回「漢語橋」世界大学生中国語スピーチコンテスト、北海道予選大会(中華人民共和国駐札幌総領事館など主催)が開かれ、道内の各大学から中国語や中国文化を学ぶ優秀な学生が多数参加する中、本学外国語学部4年の橋口友美さんが準優勝を受賞しました。このコンテストは、単に中国語の話すレベルを競うだけでなく、審査員の中国語による質疑応答があり、リスニング能力や中国に関する知識も試されるハードルの高い大会です。

橋口さんはこの受賞により、7月30日から8月10日まで中国大陸で開かれる「漢語橋」応援団サマーキャンプ、意見交換会に参加する候補者に選ばれました。このサマーキャンプは、中国政府から招待された各国の大学生が一堂に会し、国や地域、文化の違いを超えて、中国語で交流するグローバルなキャンプです。現在橋口さんは、中国政府からの招待状が届くのを楽しみに、更なるレベルアップに邁進しています。

当日、橋口さんの応援に駆けつけた本学学生は、「来年は僕が参加します」と話しており、本学の輝かしい伝統は、旧3学科から国際言語学科へと確実に受け継がれています。



## 基礎看護学実習を終えて 看護学科

本年2月に現在の3年生は初めての臨地実習に出かけました。臨地実習の科目名は「基礎看護学実習」です。名前のとおり看護の基本であるコミュニケーションを主体に学ぶことを目的とした実習です。日頃の学生は友人同士、家族、教員と限られた人と生活を送っています。いざ臨地実習に向かい、患者さんなどの目的をもったコミュニケーションの難しさを肌で感じました。学生は目の前で経験豊富な看護師が、いとも簡単に患者さんの要望や不安をわずかな会話の中から引き出している場面に何度も会いました。学生は「一週間かかって患者さんが何をしたいのか、何を不安に思っているのかを聞き出したのに、看護師さんはわずかな時間で引き出している」と大変驚いていました。このような体験を経て、学生はコミュニケーション手段のありようについて大いに学ぶこととなりました。

また学生は学内での演習とは緊張が違いました。学内の演習の中で、患者の疑似体験をすることはあっても、不安や苦しみに耐える患者さんの厳しい現実を目の当たりに感じ、学生は緊張感をひしひしと感じ取っていました。看護の目的とは何か、何が患者さんの為になるか、その為には何が必要なのか。短い期間の中から看護学の基本をしっかりと実感として身に付けてくれています。こうした実体験の中から、フィードバックして何がしかの看護学の原点を常に意識することを自覚してもらうことができました。

これから3年生にとってさらにハードルの高い臨地実習が本年の後期から始まります。学生は自らが成長していることにまだその実感を強くしていませんが、臨地実習という現場での知識や技術、態度を自分の中で積み重ねることによって、無意識に実学としての看護学を学び取りながら成長していつくれることと思います。

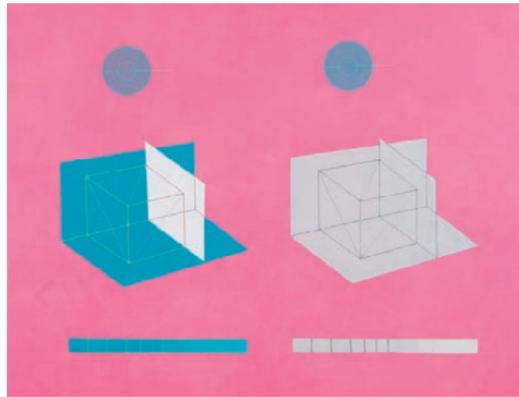
今後も看護学科の学生は医療施設において、関係者の方々や患者さんのご理解とご協力のもとに臨地実習を展開していくつもりです。

御縁があつて、この4月より本学人間科学部(でも発達学科)に着任させていただきました。前任の札幌国際大学短期大学部幼児教育保育学科には40年余り勤めました。札幌国際大学の教育実習は、札幌市や全道各地の保育所、幼稚園、各種施設(時期小学校も)でした。市や公立の保育所に実習訪問すると、園長先生が卒業生を紹介してくれました。それぞれ、10年、20年、30年前に習いましたと挨拶されると、お互い時間の歴史をみるようで、永く勤めたことの実感でした。

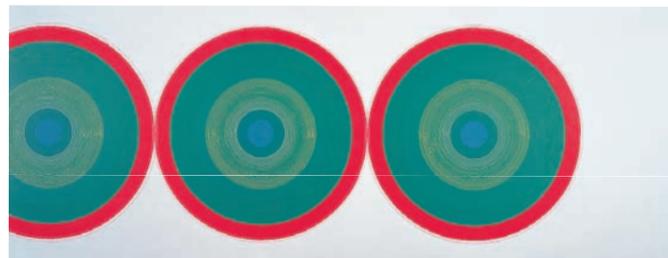
担当授業科目では、例年、8月に札幌中島公園の「札幌市こども人形劇場こくま座で、人形劇」、10月には太字地下シアターで2年生全員参加の150名位の「オペレッタ」を公演し、「こどもや父母の皆様とふれあい、地域交流し、貴重な教育体験でした。本学では「保育内容V絵画制作」の「表現II造形」の「教科教育法 図画工作」の「こども学総合演習」等を担当します。

さて、昨年11月に思いがけなく「平成21年度 札幌芸術賞」を受賞しました。受賞理由には「北海道を代表する鮮やかな色彩と緊張する構成の純粹抽象画の第一人者。また、40年以上にわたり美術教育および保育者養成に携わった実績による」とあります。この賞は昭和47年が最初で、私は38回目の受賞者となり、歴代には優れた活動実績の美術家が在り、その中に私の抽象絵画が認められたことは大きな達成感があります。正統具象絵画の公尊展といわれた、所属する北海道美術協会(道展)にも、今では抽象系の展示室もあり、年代を重ねた時代の変化を思います。

抽象といっても私は幾何形や日常の図などから発想を描いています。掲載した図版の絵「作品 level-01」は地層の断面図からのイメージです(表紙に掲載)。新作と近作の私の個展が7月5日〜10日まで札幌時計台ギャラリーにて開催予定です。機会がありましたら是非「観てください。



「作品 project-4」 2010年



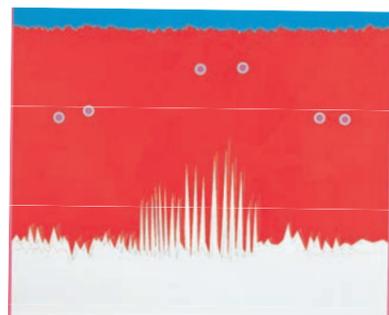
「作品 RG-3」 1995年

## 平成21年度札幌芸術賞

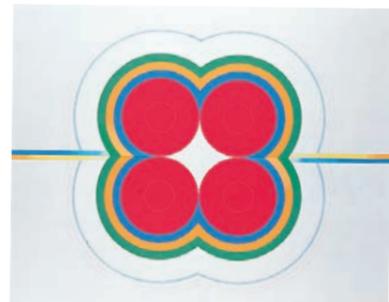


こども発達学科 教授 堀内 掬夫

これは鈴木武夫学長・理事長の「豊かな人間性」「健全な社会性」のたしかな具現化です。こどもをめぐる環境には、近年厳しいものがあります。この時代に「保育士」「幼稚園教諭」「小学校教諭」または特別支援学校教諭のトリプル免許に挑戦する大胆な決断に応えるために、「高度の専門性」を身につけた「プロ」の技量、資質の学生を育成が一層強く求められます。熱意と創造性ある学生、熟練の教師陣からなる本学科の力が、これから大きく全道に文教の技術を拡げていくことを確信しています。



「作品 graph-22」 2006年



「作品 4R-MAR」 1996年

個展開催のお知らせ！

### 堀内掬夫 自選展

Kikuo Hortuchi One-Person Exhibition

2010年 **7/5** 月 → **10** 土

10:00~18:00 (10日(土)は17:00まで)

札幌時計台ギャラリー A・B室

札幌市中央区北1条西3丁目 Tel : 011-241-1831

# 同窓会の今から

北海道文教大学同窓会「つるの会」会長 北崎 迪子

“春は名のみ”の寒さだった本年も、やっと暖かい風在花を愛でる喜びを感じているこの頃ですが皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

同窓会は3月に本館から1号館の元の理事長室に移転しました。素晴らしい景色を失ったのは少々残念ですが代わりに重厚な雰囲気の中で着々と事務の仕事を進めております。昨年は網走支部に続き「後志支部研修会及び懇親会」を余市にて盛大に開催し、今年9月に室蘭に於いて「日胆支部会」を開催の予定となっております。停滞気味の同窓会の活動に悩んでおりましたが毎年支部会を着実に開催する事と合わせ「栄凜祭」には健康栄養学科のみならず他学科の同窓生の協力もありとそんなことで輪が広がりつつあるのでしょうか。同窓会総会への出席者が年々多くなり喜んでおります。ホームページも若い同窓生の働きで素敵にリニューアルされました。是非遊びにおいでください。

7月には第1回の役員会を開き今年度も同窓生にフレッシュな情報を届けていけるような活動をしていきたいと頑張っております。

まだまだ定まらない天候かと心配されますが皆様どうぞご愛顧くださいますように。

## 北海道文教大学後援会の事業活動報告

北海道文教大学後援会会長 伊藤 誉志久

会員の皆様には、平素より後援会活動に対しまして深いご理解とご協力をいただいております。心より厚く御礼申し上げます。

後援会は、会員の皆様相互のご協力によって、大学と短期大学部を後援し、その発展充実に寄与することを目的として様々な事業活動を展開しております。

昨年度の事業活動の一端を申し上げますと、学生の福利厚生面の充実を図るべく、大学側と協議を重ね、カフェテリアとコンビニの間にある学生ラウンジにオシャレなテーブルと椅子を整備し、食事や語らいの場を設けました。利用頻度も高く、好評を得ていると聞いております。

また、引き続き学生の希望を取り入れた図書整備を進めることとして「後援会文庫」も実施して参りました。さらに、大学側からの強い要請に応え、吹奏楽部に対し、その楽器購入のための補助を実施致しましたので、皆様の前で爽やかな音色を披露できる日も近いものと考えております。

その他、大学の創立記念など、何らかの節目における後援会としての適切な対応を可能とすべく、資金確保の面から新たに「後援活動調整基金」を設けることとしたところです。例年開催しております「父母懇談会」につきましては、昨年度は札幌・恵庭両キャンパスのほか、函館・北見両市の地方会場で開催し盛況でしたが、今年度につきましても同様に計画(地方会場は函館市と道東会場)しておりますので、是非ご出席下さいませようお願い申し上げます。

後援会としては、今後とも大学側ときめ細かく連携し、学生が有意義で楽しい学園生活を送ることができるようサポートして参りたいと考えておりますので、会員の皆様におかれましては、後援会活動に対しまして積極的にご参加、ご理解、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

子どもは自然環境の中で遊ぶことによつて様々なことを学びます。好奇心を持って、様々な遊びを展開し、自由に発展させたり、危険に注意することを覚えたり、感動することや驚くことに出会ったり、普段経験しないような様々な経験ができるので、その経験をひとつでも多く子どもに体験してもらいたいと思っております。体験をとおして、豊かな子どもの表情

北海道文教大学短期大学部幼児保育学科を卒業し、今年の4月から附属幼稚園でフリー教諭をしている村中大御です。  
附属幼稚園は自然が溢れる丘の上にあります。冒険広場や小鳥の村などとても恵まれた環境が身近にあります。その自然と密接な環境にある附属幼稚園で、私は自然の中で遊ぶ楽しさ、自然の素晴らしさを伝えていくような保育をしたいと考えています。私が自然との関わりを強く意識するようになったのは、ある先輩との出会いがあったからです。  
その先輩とは、私が学生の時に短大で講演をしてくださった北広島市にある大地太陽幼稚園で勤務している前園先生です。前園先生は大学を卒業し、社会人を経てから文教短大に入學し、現在、大地太陽幼稚園で教諭として勤務しています。大地太陽幼稚園は附属幼稚園のように自然に囲まれた場所にあります。前園先生はその幼稚園で、遊具やツリーハウスデッキを作ったり、大きな畑で子どもと野菜を作ったりと、自然を生かした保育を展開しています。そんな前園先生の勤める大地太陽幼稚園を見学させていただき、子どもが自然環境の中で、のびのびと活動するために全力を尽くしている前園先生の姿に憧れを抱き、私もこんな保育をしたいと強く思いました。



「前園先生」  
※前園和寿 宮崎県出身、高知大学卒業後会社員を経て、2004年4月北海道文教大学短期大学部男子学生1期生として卒業。自然と芸術に特徴のある、北広島市の「大地太陽幼稚園」教諭として信頼を得、将来を展望されている。

を引き出せるように、子どもと一緒に草むらの中を冒険したり、色々な生き物や草木に興味を持ち、触れたり、育てたり、常に子どもと近い距離に身を置き、日々の活動の中で、子どもと一緒に喜怒哀楽や驚き、感動をわかち合える保育をしていきたいと思っています。  
そして、子どもにとつて、「あんなことしたな」「こんなことがあつて楽しかったな」などと、大人になつても貴重な体験をしたと思つてもらえる幼稚園生活にできるように援助していきたいと思つています。  
先輩である前園先生の実践に学び、私も附属幼稚園にある自然を十分に使つて、子どもたちにたくさんの経験をしてもらえようように、そして子どもと一緒に成長していきたいと思つています。

# OB教員奮闘記!

北海道文教大学短期大学部附属幼稚園 教諭 村中 大御

北海道文教大学明清高等学校 教諭 鈴木 舞



「大好きな母校で教員に・・・。」  
願の夢が叶い、教員としての第2歩を大好きな母校で歩むことになりました。高校時代は、女子サッカー部の主将を経験し、そこでは諸先生方や家族、友人、チームメイトに支えられ3年間充実した環境で成長することができました。学校生活をいかに楽しくするかという、まず自分の「意識」を変えることだと思つています。挨拶・礼儀・身だしなみは意識ひとつで変化できます。社会に出てから特に必要なことを高校生から意識できれば絶対に自分のプラスになると思っています。  
私は「明るく元気」という言葉が大好きです。学校での勉強・生活・部活面すべてにおいてメリハリを持ちながら「明るく元気に!」一生懸命がんばります。また、女子サッカー部の指導をするにあたっては、自分の高校時代の教諭を生かし、人間性の強化をしていきたいです。生徒が目標としている全国制覇を目指すうえで、誠心誠意の心を持って指導にあたりていきたいと考えています。  
サッカーを通じて高校生活を有意義に過ごしてもらえようように働きかけていきたいと思つています。

## 人事

### 採用 [平成22年4月1日付] 事務局

- 長尾 義昭 (学務部学生課 主幹)
- 川幡 真希 (学務部教務課 係員)
- 猪狩 友絵 (学務部学生課 係員)
- 出村 由利子 (学務部学生課 係員) (5/6付)
- 北海道文教大学 外国語学部
- 菅原 良 (国際言語学科 准教授)
- 北海道文教大学 人間科学部
- 大久保 岩男 (健康栄養学科 教授)
- 板垣 康治 (健康栄養学科 准教授)
- 荒井 真一 (健康栄養学科 講師)
- 飯田 紀子 (理学療法学科 教授)
- 牧野 均 (理学療法学科 准教授)
- 深澤 圭子 (看護学科 教授)
- 高岡 哲子 (看護学科 准教授)
- 立石 和子 (看護学科 准教授) (5/1付)
- 伊藤 亜希子 (看護学科 講師)
- 堀籠 はるえ (看護学科 講師)
- 稲場 久よ (看護学科 助教)
- 大井 和美 (看護学科 助教)
- 小笠原 祥子 (看護学科 助手)
- 村瀬 南海子 (看護学科 助手)
- 三上 勝夫 (こども発達学科 教授)
- 堀内 掬夫 (こども発達学科 教授)
- 鈴木 重男 (こども発達学科 准教授)
- 田島 与久 (こども発達学科 准教授)

- 坂本 芳明 (こども発達学科 講師)
- 佐藤 健一 (こども発達学科 講師)
- 田中 美穂 (こども発達学科 講師)
- 前野 哲重 (こども発達学科 講師)
- 山口 宗兼 (こども発達学科 講師)
- 川端 愛子 (こども発達学科 助手)
- 北海道文教大学明清高等学校
- 有野 靖弘 (教諭)
- 柴田 詠子 (教諭)
- 鈴木 舞 (教諭)
- 久末 大介 (教諭)
- 北海道文教大学短期大学部附属幼稚園
- 小西 悦子 (教諭)
- 佐々木 真里 (教諭)
- 村中 大御 (教諭(兼)運転手)

### 昇任 [平成22年4月1日付] 事務局

- 荻根澤 則文 (事務局次長(併)総務部長)
- 今野 孝明 (総務部 総務課長)
- 山本 淑子 (総務部 会計課長)
- 大藤 昭 (学務部次長(併)学生課担当(併)学生課長)
- 細井 雅人 (学務部 教務課長)
- 新田 隆 (入試広報部長(併)入試広報課長)
- 野村 直樹 (就職部長(併)就職課長)

### 北海道文教大学 外国語学部

- Deepak K.Samida (国際言語学科 教授)
- 久野 寛之 (国際言語学科 教授)
- 山内 智恵美 (国際言語学科 教授)

- 小西 正人 (国際言語学科 准教授)

### 異動 [平成22年4月1日付] 北海道文教大学 人間科学部

- 後藤 守 (こども発達学科 教授)

### 再雇用 [平成22年4月1日付] 事務局

- 和泉 勝昭 (総務部 参事)
- 堀田 栄吉 (総務部 管財課(仮)技士兼用務員)
- 北海道文教大学 外国語学部
- 黒坂 満輝 (中国語コミュニケーション学科 教授)
- 北海道文教大学 人間科学部
- 豊田 修次 (健康栄養学科 教授)
- 荒井 三津子 (健康栄養学科 客員教授)
- 笹谷 美恵子 (健康栄養学科 客員教授)
- 中島 亮 (健康栄養学科 客員教授)
- 北海道文教大学短期大学部
- 開沼 英則 (幼児保育学科 講師)

### 退職 [平成22年3月31日付] 事務局

- 和泉 勝昭 (総務部 参事)
- 櫻澤 倫子 (札幌校バス事務局 課長補佐)
- 堀田 栄吉 (総務部 管財課ポイラー技士兼用務員)
- 北海道文教大学 外国語学部
- 矢口 以文 (英米語コミュニケーション学科 教授)
- 黒坂 満輝 (中国語コミュニケーション学科 教授)
- 城谷 武男 (中国語コミュニケーション学科 教授)
- 藤本 幸三 (中国語コミュニケーション学科 教授)

### 北海道文教大学 人間科学部

- 荒井 三津子 (健康栄養学科 教授)
- 笹谷 美恵子 (健康栄養学科 教授)
- 豊田 修次 (健康栄養学科 教授)
- 中嶋 亮 (健康栄養学科 教授)
- 中河原 俊治 (健康栄養学科 教授)
- 濱田 康 (健康栄養学科 教授)
- 井本 佳宏 (健康栄養学科 講師)
- 鈴木 純子 (健康栄養学科 講師)
- 青木 藩 (理学療法学科 教授)
- 齋藤 正美 (理学療法学科 准教授)
- 岩田 銀子 (看護学科 教授)
- 坂田 朋子 (看護学科 講師)
- 出村 由利子 (看護学科 講師)
- 高井 奈津子 (看護学科 助教)
- 茶碗谷 草子 (看護学科 助手)

### 北海道文教大学短期大学部

- 平松 昌子 (幼児保育学科 准教授)
- 開沼 英則 (幼児保育学科 講師)
- 北海道文教大学明清高等学校
- 小笠原 健太 (教諭)
- 今野 寛子 (教諭)
- 佐藤 正典 (教諭)
- 松崎 祥一 (教諭)

### 北海道文教大学短期大学部附属幼稚園

- 藏ヶ崎 友美 (教諭)
- 仙北 真弓 (教諭)
- 橋本 大生 (教諭)



## 北海道文教大学 2011年度 入試日程

| 入試区分                          | 出願期間                                      | 試験日                 | 合格発表      | 手続締切      |                     |
|-------------------------------|---|---------------------|-----------|-----------|---------------------|
| 推薦入試                          | 一般  | 10/26 (火)～11/9 (火)  | 11/13 (土) | 11/18 (木) | 11/19 (金)～12/3 (金)  |
|                               | 指定校                                       |                     |           |           |                     |
| 自己推薦<br>国際言語学科<br>健康栄養学科      | 前期  | 11/1 (月)～11/15 (月)  | 11/17 (水) | 11/19 (金) | 11/22 (月)～12/6 (月)  |
|                               | 後期  | 11/19 (金)～12/6 (月)  | 12/8 (水)  | 12/10 (金) | 12/13 (月)～12/24 (金) |
| 一般                            | I 期                                       | 1/12 (水)～1/26 (水)   | 2/1 (火)   | 2/8 (火)   | 2/9 (水)～2/18 (金)    |
|                               | II 期                                      | 2/14 (月)～3/1 (火)    | 3/4 (金)   | 3/10 (木)  | 3/11 (金)～3/22 (火)   |
|                               | III 期<br><small>国際言語学科<br/>健康栄養学科</small> | 3/7 (月)～3/18 (金)    | 3/23 (水)  | 3/24 (木)  | 3/25 (金)～3/29 (火)   |
| 大学入試<br>センター利用                | 前期日程                                      | 1/6 (木)～2/1 (火)     | 個別試験は課さない | 2/11 (金)  | 2/14 (月)～2/25 (金)   |
|                               | 後期日程                                      | 2/14 (月)～3/1 (火)    | 個別試験は課さない | 3/10 (木)  | 3/11 (金)～3/22 (火)   |
| 特別入試<br>社会人<br>外国人留学生<br>帰国生等 | 前期  | 11/19 (金)～12/6 (月)  | 12/8 (水)  | 12/10 (金) | 12/13 (月)～12/24 (金) |
|                               | 後期  | 1/31 (月)～2/14 (月)   | 2/16 (水)  | 2/18 (金)  | 2/21 (月)～3/7 (月)    |
| 編入学<br>(国際言語学科)               | 前期  | 11/19 (金)～12/6 (月)  | 12/8 (水)  | 12/10 (金) | 12/13 (月)～12/24 (金) |
|                               | 後期  | 1/31 (月)～2/14 (月)   | 2/16 (水)  | 2/18 (金)  | 2/21 (月)～3/7 (月)    |
| AO入試                          | エントリー                                     | 8月下旬～11月上旬          |           |           |                     |
|                               | 出願  | 9月上旬～11月下旬          |           |           |                     |
| 大学院                           | 前期  | 11/12 (金)～11/29 (月) | 12/1 (水)  | 12/3 (金)  | 12/6 (月)～12/16 (木)  |
|                               | 中期  | 1/24 (月)～2/7 (月)    | 2/9 (水)   | 2/12 (土)  | 2/25 (金)            |
|                               | 後期  | 3/1 (火)～3/10 (木)    | 3/15 (火)  | 3/16 (水)  | 3/23 (水)            |

## 2010年度 (平成22年度) 進学相談会日程

| 開催日        | 時間          | 会場                     |
|------------|-------------|------------------------|
| 6月17日 (木)  | 13:25～15:15 | 札幌光星高校                 |
|            | 16:00～17:30 | 文教大明清高校                |
|            | 15:30～18:30 | 釧路 プリンスホテル             |
| 18日 (金)    | 10:00～12:00 | クラーク記念国際高校             |
|            | 15:30～17:30 | 富良野 富良野文化会館            |
| 21日 (月)    | 15:00～18:00 | 千歳 ANAクラウンプラザ千歳        |
|            | 14:30～18:30 | 秋田 ホテルメトロポリタン秋田        |
|            | 15:30～17:30 | 留萌 パワスポ留萌              |
| 22日 (火)    | 14:30～18:30 | 盛岡 ホテルメトロポリタン盛岡        |
| 23日 (水)    | 13:10～15:40 | 小樽双葉高校                 |
|            | 11:00～13:50 | 札幌南陵高校                 |
|            | 15:30～18:30 | 旭川 ロワジールホテル            |
|            | 14:30～18:30 | 青森 青森市文化会館             |
| 24日 (木)    | 14:30～18:30 | 札幌 パークホテル              |
|            | 15:30～17:30 | 名寄 名寄市民文化センター          |
| 25日 (金)    | 15:30～18:00 | 稚内 稚内海民会館              |
| 28日 (月)    | 13:25～15:15 | 札幌山の手高校                |
| 29日 (火)    | 13:25～15:10 | 倶知安高校                  |
| 7月1日 (木)   | 13:20～15:10 | 北海高校                   |
| 2日 (金)     | 14:00～18:00 | 滝川地区会場相談会              |
| 6日 (火)     | 15:30～18:30 | 札幌 ニトリ文化ホール (旧:厚生年金会館) |
| 16日 (金)    | 13:20～15:10 | 帯広北高校                  |
| 21日 (水)    | 10:20～14:30 | 中標津高校                  |
|            | 10:30～15:00 | 帯広緑陵高校                 |
| 25日 (日)    | 13:30～17:00 | 札幌ファクトリーホール            |
| 8月19日 (木)  | 15:00～18:00 | 室蘭 蓬岐殿                 |
| 20日 (金)    | 15:00～18:00 | 苫小牧 グランドホテルニュー王子       |
| 23日 (月)    | 15:00～18:00 | 北見 ホテルベルクラシック北見        |
| 24日 (火)    | 15:00～18:00 | 旭川 ロワジールホテル            |
| 25日 (水)    | 15:00～18:00 | 小樽 グランドパーク小樽           |
| 26日 (木)    | 15:00～18:00 | 函館 ベルクラシック函館           |
| 27日 (金)    | 15:00～18:00 | 札幌 パークホテル              |
| 30日 (月)    | 15:00～18:00 | 釧路 観光国際交流センター          |
| 31日 (火)    | 15:00～18:00 | 帯広 ホテル日航ノースランド         |
| 9月2日 (木)   | 15:30～18:30 | 秋田 アルヴェ                |
| 3日 (金)     | 15:30～18:30 | 盛岡 ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング |
| 7日 (火)     | 15:30～18:30 | 山形 ホテルメトロポリタン山形        |
| 10日 (金)    | 15:00～18:30 | 仙台 仙台国際ホテル             |
| 13日 (月)    | 15:30～18:30 | 青森 青森国際ホテル             |
| 14日 (火)    | 15:30～18:30 | 八戸 プラザアーバンホール          |
| 11月11日 (木) | 12:50～15:30 | 滝川高校                   |

## 2010年度 オープンキャンパス のご案内

### ■ 日程

全日程10:00～14:30

第1回 6月26日(土)

第2回 7月31日(土)

第3回 9月25日(土)

第4回 10月16日(土)

第5回 2011年3月25日(金)

(1,2年生対象)

### ■ 参加申込方法

事前に、フリーダイヤル0120-240-552、または、北海道文教大学ホームページのオープンキャンパス参加申込フォームからお申込みください。



パンフレット、募集要項(願書)、  
過去問題を送料とも無料でお送りします。

大学案内・願書・過去問題の  
申し込み先

入試広報課

☎ 0120-240-552 Fax:0123-34-1640  
<http://www.do-bunkyodai.ac.jp>